

生徒指導・教育相談だより

純なるこころ

令和2年2月21日 No.11

校訓：剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

学校教育目標：主体的に学び心豊かに未来をたくましく生きる生徒の育成

多様性の尊重と思いやり

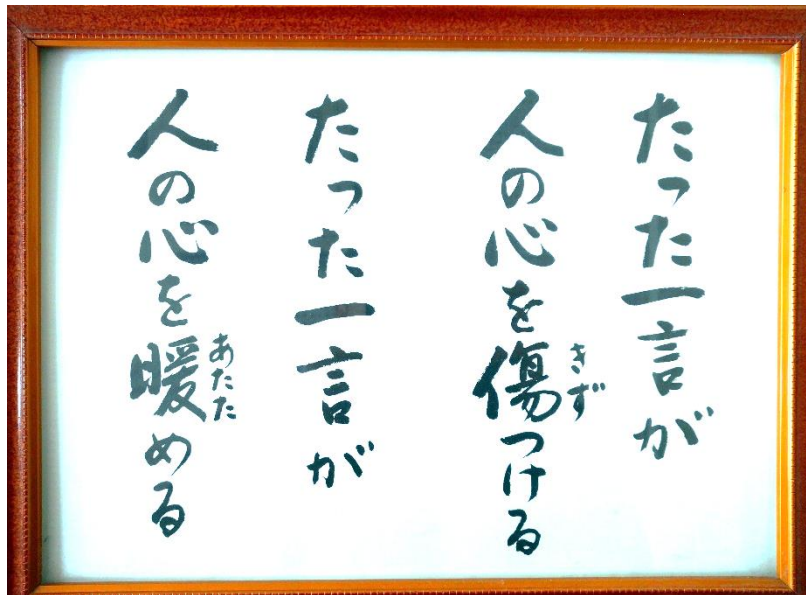
校訓の「純なるこころ」には、**多様性を尊重**する生徒になってほしいという願いがこめられています。これからの社会を生きていく中で大切な資質・能力の一つです。

多様性を尊重するとは、多様な個性・能力を生かして活躍する自立した人間になること。そして年齢・人種・障がいなど多様な生き方や考え方を尊重し合う**共生社会**をつくることです。

学校は社会の縮図です。様々な生徒がいて、様々な生き方や考え方があっていいはずで。ですから、皆野中学校の中においても「多様性を尊重する」という意識をもって生活していくことが大切です。

そこで、いつの時代でも変わらない肝心なことは、**他者を思いやる**ことです。まさに、校訓の「深き愛」です。

思いやりの行動の原点になるような言葉を紹介します。皆中の玄関ホールにいつも掲げてあります。



想像力を働かせよう！

- こんなことを言ったら、相手はどう思うかな？
- 何気なく言った言葉だけど、相手はどう思ったかな？
- 自分がされて嫌なことは、相手にもしていないかな？

相手の気持ちを想像し、人の気持ちがわかる皆中生になってほしいと願っています。